

都内企業の景況感

— 第128回企業動向調査結果 平成29年10月実施 —



◎ 都内中小企業の景況は回復、先行きも高い水準が続く見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の12.5から今回23.9へと、11.4ポイント上昇し、回復している。先行きについて同DI*は、2.1ポイントの低下ながら21.8と高い水準が続く見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	12.5	⇒	23.9 (前回予想 17.3)	⇒	21.8
2. 売上高DI*は、前回の8.6から今回17.9へと9.3ポイント上昇、経常利益DI*は、5.8から16.2へ10.4ポイント上昇した。先行きについては、売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	8.6	⇒	17.9 (前回予想 14.4)	⇒	23.1
	経常利益 DI*	5.8	⇒	16.2 (前回予想 9.7)	⇒	17.2
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回7.3と2.9ポイント上昇、仕入れ価格DIは、27.0と5.3ポイント上昇した。先行きについては、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	販売価格 DI	4.4	⇒	7.3	⇒	8.1
	仕入れ価格 DI	21.7	⇒	27.0	⇒	29.6
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の5.3から今回8.0へと2.7ポイント上昇し、運転資金需要DI*は、前回の7.5から今回8.2へと0.7ポイント上昇した。先行きについては、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-6.9	⇒	-4.2	⇒	...
	設備資金需要 DI*	5.3	⇒	8.0	⇒	14.3
	運転資金需要 DI*	7.5	⇒	8.2	⇒	10.1
5. 金融機関借入難易感DIは、今回24.7と1.2ポイント低下、資金繰りDIは、今回11.6と0.5ポイント低下した。	金融機関借入 難易感 DI	25.9	⇒	24.7	⇒	...
	資金繰り DI	12.1	⇒	11.6	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
6. 経営上の問題点の第1位は、前回同様「労働力不足・求人難」でシェア18.0%、第2位は、前回3位の「人材難」が16.2%、第3位は、前回2位の「同業他社との競合」が14.8%、第4位は、「売上不振」で9.1%、第5位は、「人件費等経費の増加」で8.0%、第6位は、「原材料高・仕入れ価格高」で7.1%、第7位は「合理化不足」で4.9%、第8位は、「取引先からの値引き要請」4.5%であった。	労働力不足・求人難	17.1	⇒	18.0		
	人材難	15.7	⇒	16.2		
	同業他社との競合	15.9	⇒	14.8		
	売上不振	9.0	⇒	9.1		
	人件費等経費の増加	7.6	⇒	8.0		
	原材料高・仕入れ価格高	6.6	⇒	7.1		
	合理化不足	4.9	⇒	4.9		
	取引先からの値引き要請	4.7	⇒	4.5		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回 8.1、今回 16.5、先行き 19.1)で判断したもの。前回は「晴れ時々曇り」今回は「晴れ」、先行きは「晴れ」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。

東京都民銀行(頭取:坂本 隆)は、東京圏の中小・中堅企業を主な対象に年3回、景況調査を実施しております。このほど、平成29年6月～平成29年10月の実績見込みによる前年同時期との比較、および調査時点以降6カ月の見通しについての「第128回企業動向調査」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

今回調査の概要:

1. 調査対象企業数	920	3. 回答企業の構成比		
2. 回答企業数	277		(件数)	(%構成比)
(回収率 30.1%)		製造業	113	40.8
		非製造業	164	59.2
		合計	277	100.0
		従業員 30人以下	118	42.6
		従業員 31～99人	90	32.5
		従業員 100人以上	69	24.9

1. 自社業況判断、売上、利益

(1) 自社業況判断DI

自社業況判断DI*は、前回の12.5から、今回23.9と11.4ポイント上昇した。中小企業の景況は回復している。

業種別で見ると、製造業のDI*は20.1と7.4ポイント上昇し、非製造業のDI*は26.3と13.4ポイント上昇した。

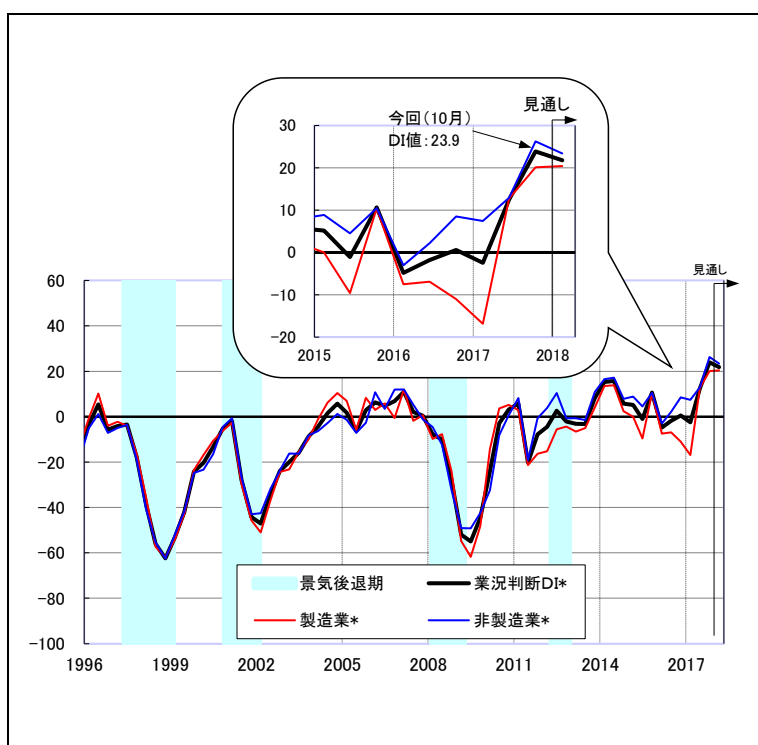
製造業の個別14業種のなかでは、電気機器など6業種のDIが上昇した。

非製造業の個別7業種のなかでは、建設など3業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業はほぼ横這い、非製造業は低下する見通し。

(図1)業況判断DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	-2.4	12.5	23.9	21.8
製造業	-16.9	12.7	20.1	20.4
非製造業	7.4	12.9	26.3	23.4



(2) 売上高DI

売上高DI*は、前回の 8.6 から今回、17.9 へと9.3ポイント上昇した。

業種別で見ると、製造業のDI*は今回、11.6と前回から1.6ポイント低下、非製造業のDI*は22.3と17.6ポイント上昇した。

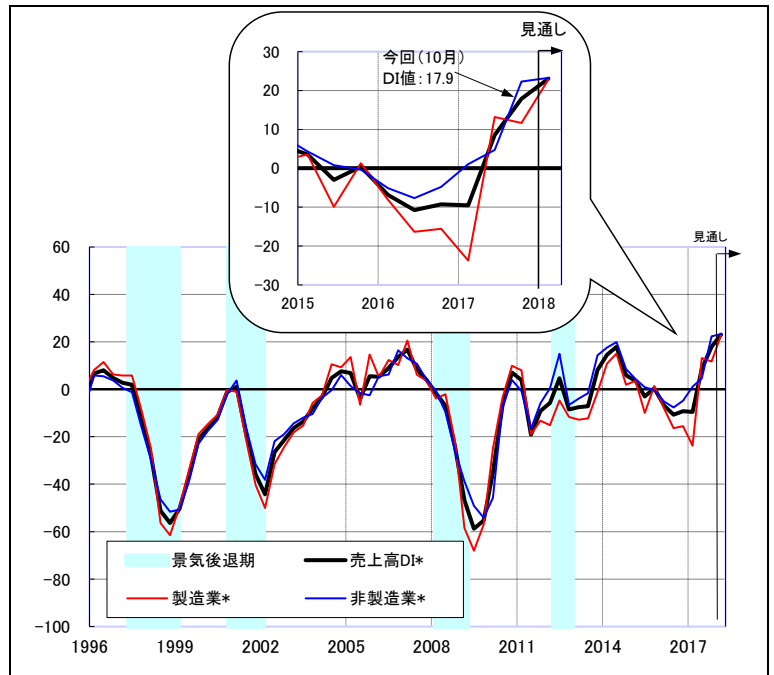
製造業の個別14業種のなかでは、印刷・同関連など7業種のDIが低下した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図2) 売上高DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	-9.5	8.6	17.9	23.1
製造業	-23.8	13.2	11.6	22.9
非製造業	1.1	4.7	22.3	23.3



(3) 経常利益DI

経常利益DI*は、今回 16.2 と、前回の 5.8 から 10.4ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDI*は今回10.2と前回から1.0ポイント低下、非製造業のDI*は今回20.4と18.3ポイント上昇した。

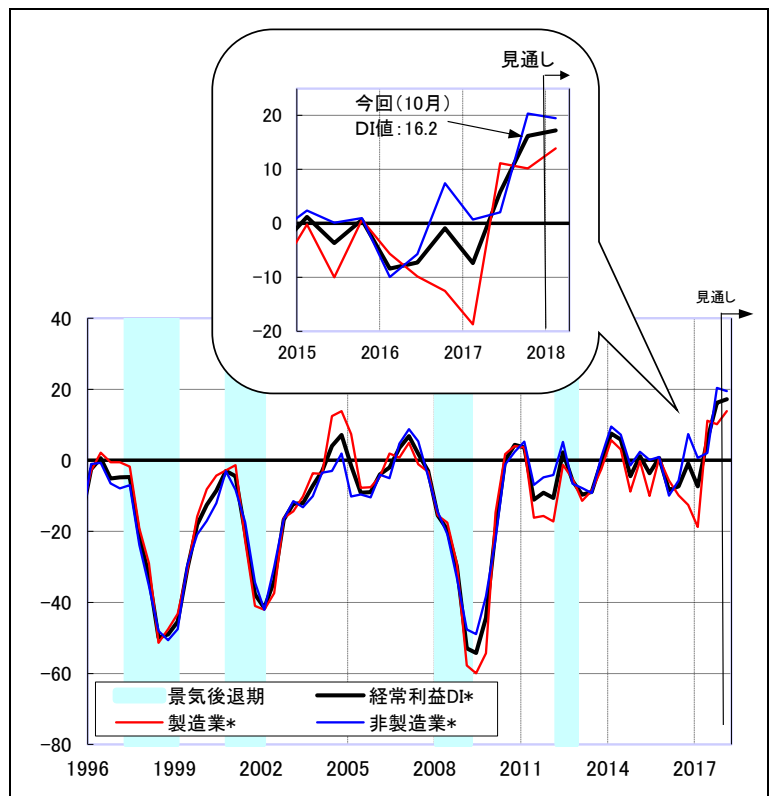
製造業の個別14業種のなかでは、電気機器など7業種のDIが低下した。

非製造業の個別業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)DI*は、製造業は上昇、非製造業は低下する見通し。

(図3) 経常利益DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	-7.3	5.8	16.2	17.2
製造業	-18.7	11.2	10.2	13.9
非製造業	0.7	2.1	20.4	19.5



2. その他の指標

(4) 販売価格

販売価格DIは今回 7.3 で、前回の 4.4 から 2.9 ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDIは 0.9 と前回から 2.7 ポイント上昇、非製造業のDIは 11.9 と 3.2 ポイント上昇した。

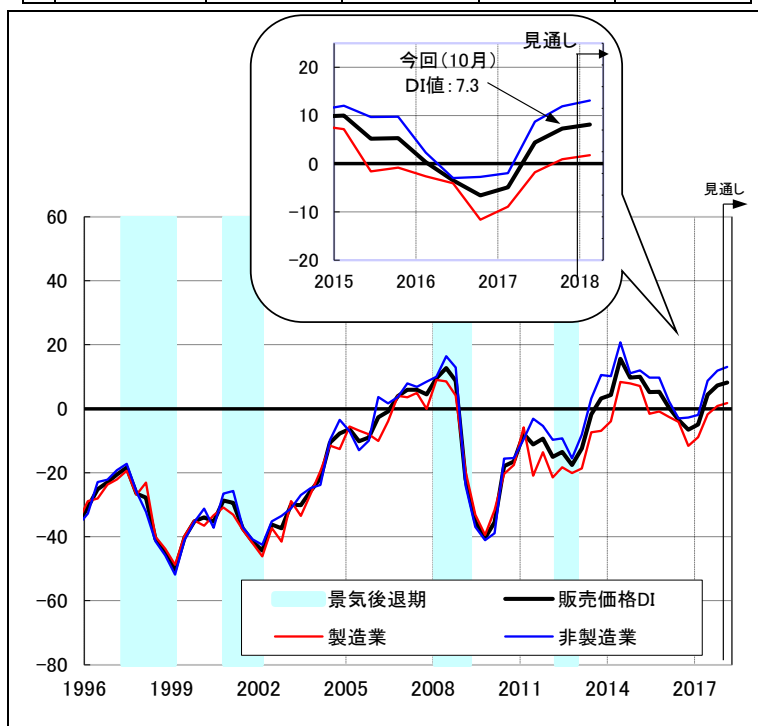
製造業の個別 14 業種のなかでは食料品など 5 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、小売など 5 業種のDIが上昇した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図4) 販売価格DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	-4.9	4.4	7.3	8.1
製造業	-8.9	-1.8	0.9	1.8
非製造業	-1.9	8.7	11.9	13.1



(5) 仕入れ価格

仕入れ価格DIは、今回 27.0 と前回の 21.7 から 5.3 ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDIは今回 30.9 と 10.4 ポイント上昇し、非製造業のDIは 24.2 と 1.7 ポイント上昇した。

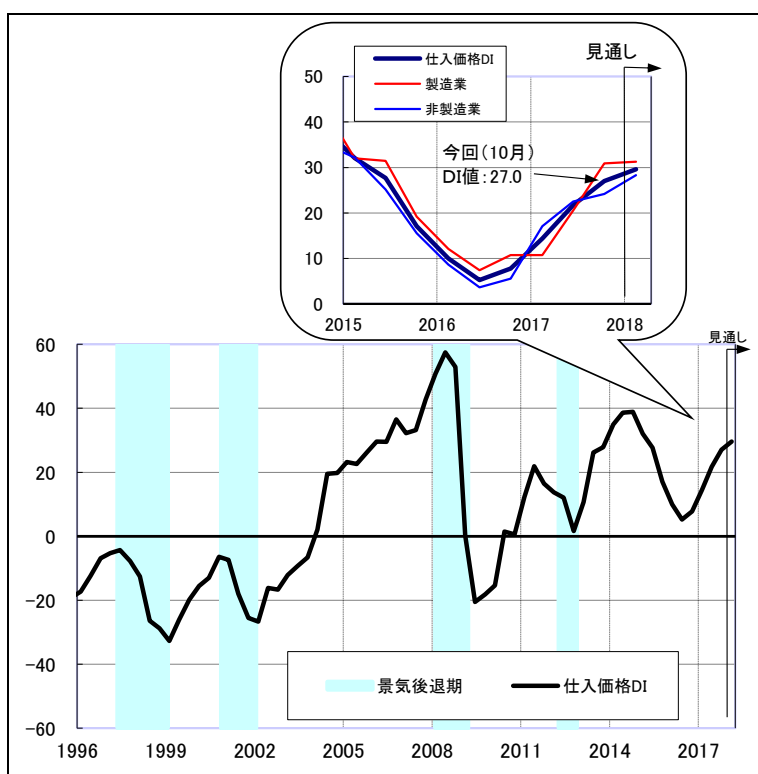
製造業の個別 14 業種のなかでは、金属製品など 8 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、運輸など 5 業種のDIが上昇した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図5) 仕入れ価格DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	14.4	21.7	27.0	29.6
製造業	10.7	20.5	30.9	31.3
非製造業	17.1	22.5	24.2	28.3



(6) 製商品在庫

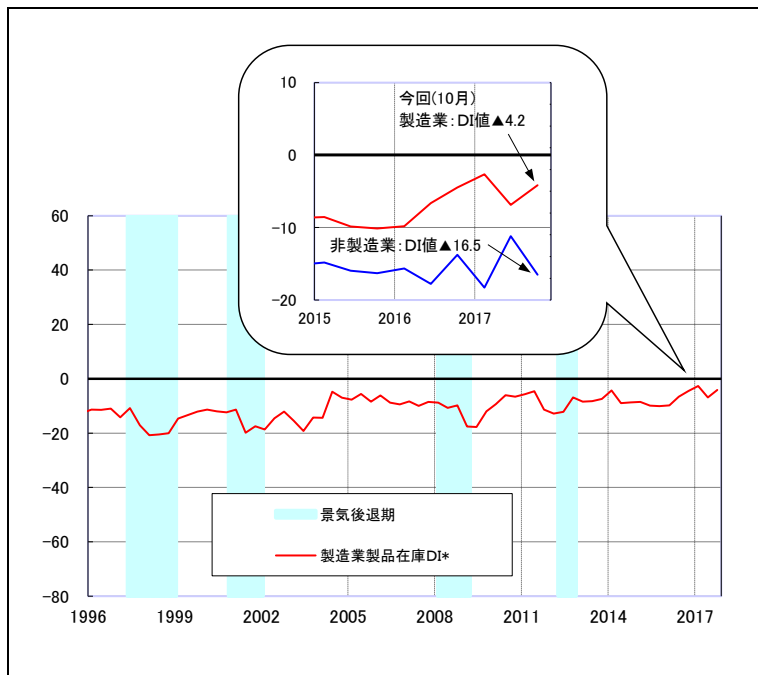
製造業製品在庫DI*は、今回-4.2と前回の-6.9から2.7ポイント上昇し、非製造業商品在庫DI*は、今回-16.5と前回の-11.2から5.3ポイント低下した。

(注)DI値*は、「不足」-「過剰」

(注)「非製造業」は、卸売業と小売業の合計

(図6) 製品在庫DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
製造業	-2.6	-6.9	-4.2
非製造業	-18.3	-11.2	-16.5



(7) 設備資金需要

設備資金需要DI*は、今回8.0と前回の5.3から2.7ポイント上昇した。

業種別では、製造業DI*は今回4.1と前より6.2ポイント低下、非製造業DI*は11.0と9.4ポイント上昇した。

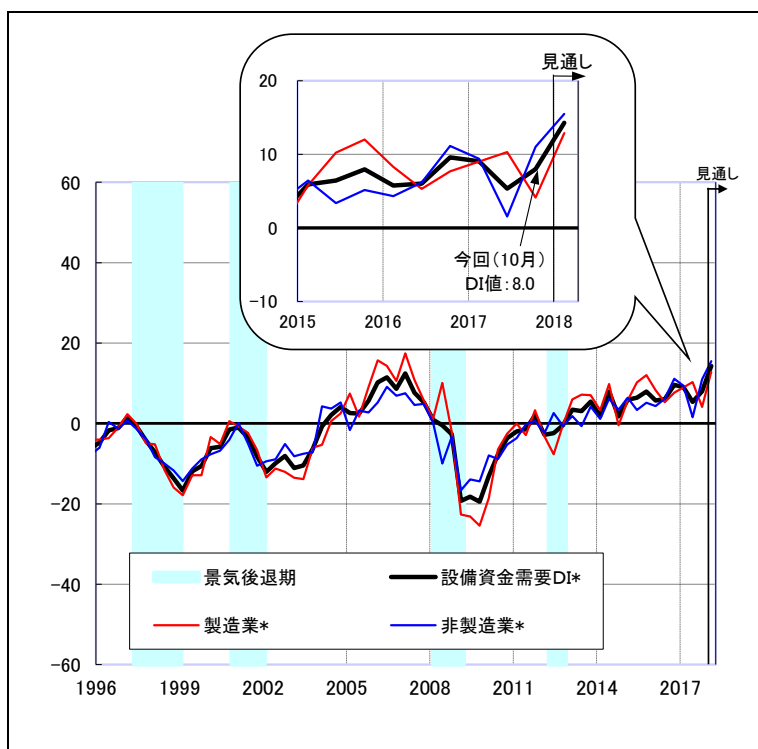
製造業の個別14業種のなかでは、一般機械など8業種のDIが低下した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図7) 設備資金需要DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	9.0	5.3	8.0	14.3
製造業	9.0	10.3	4.1	12.9
非製造業	9.4	1.6	11.0	15.5



(8) 運転資金需要

運転資金需要DI*は、今回8.2と前回の7.5から0.7ポイント上昇した。

業種別では、製造業DI*は今回8.2と前回より2.8ポイント低下、非製造業DI*は7.3と2.2ポイント上昇した。

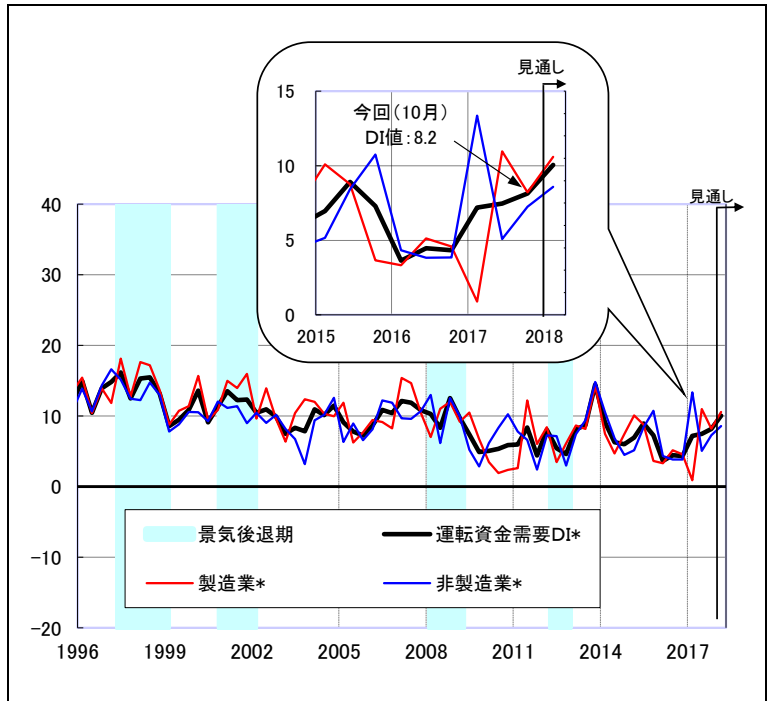
製造業の個別14業種のなかでは、その他製造業など5業種のDIが低下した。

非製造業では建設など2業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図8) 運転資金需要DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	7.2	7.5	8.2	10.1
製造業	0.9	11.0	8.2	10.6
非製造業	13.4	5.1	7.3	8.6



(9) 金融機関借入難易感

金融機関借入難易感DIは、今回24.7で前回の25.9から1.2ポイント低下した。

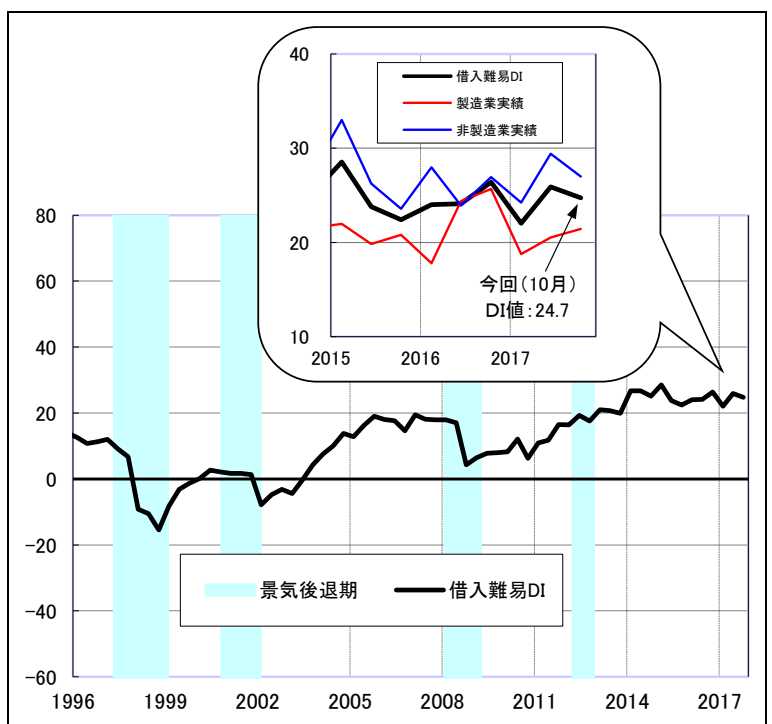
業種別では、製造業のDIは、今回21.4で前回から0.9ポイント上昇、非製造業は27.0と2.4ポイント低下した。

製造業のなかでは、電気機器など5業種のDIが上昇した。

非製造業の中では、情報通信など3業種のDIが低下した。

(図9) 金融機関借入難易感DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
全産業	22.0	25.9	24.7
製造業	18.8	20.5	21.4
非製造業	24.2	29.4	27.0



(10) 資金繰り

資金繰りDIは今回 11.6 と、前回の 12.1 から 0.5 ポイント低下した。

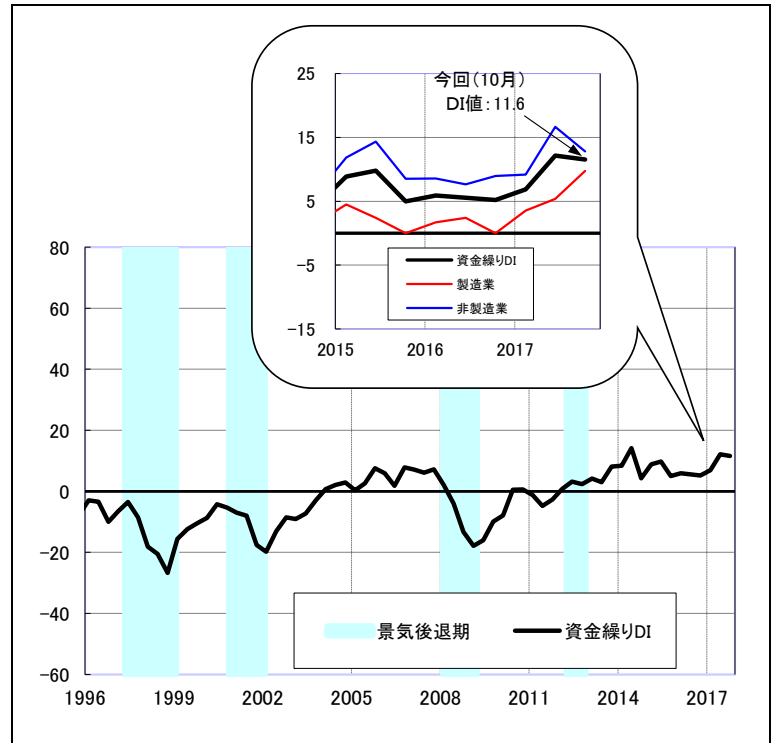
業種別では、製造業のDIは、今回 9.7 と 4.3 ポイント上昇、非製造業のDIは、今回 12.8 と 3.9 ポイント低下した。

製造業のなかでは、紙・紙加工品など 6 業種のDIが上昇した。

非製造業の中では、サービスなど 4 業種のDIが低下した。

(図10) 資金繰りDIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
全産業	6.9	12.1	11.6
製造業	3.5	5.4	9.7
非製造業	9.2	16.7	12.8

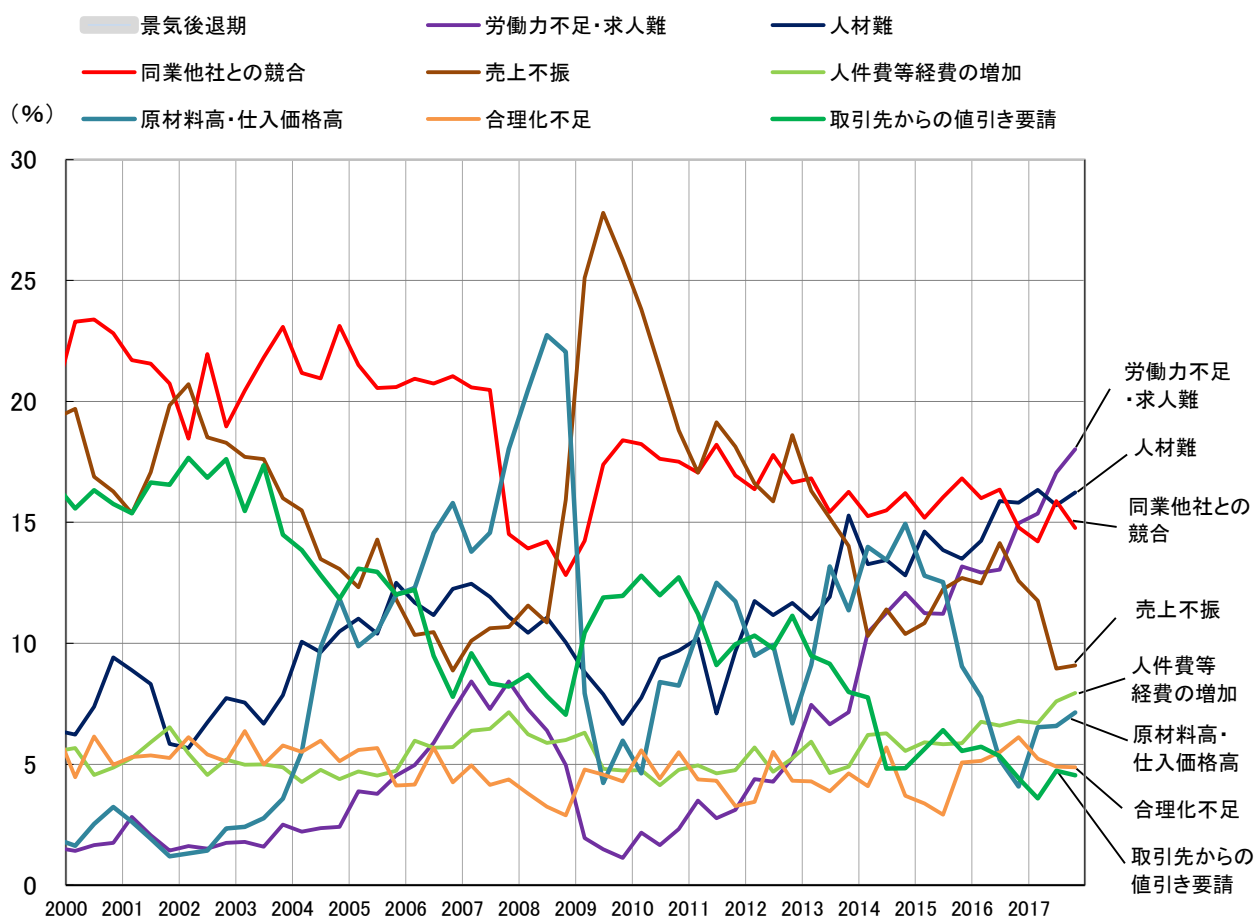


3. 経営上の問題点

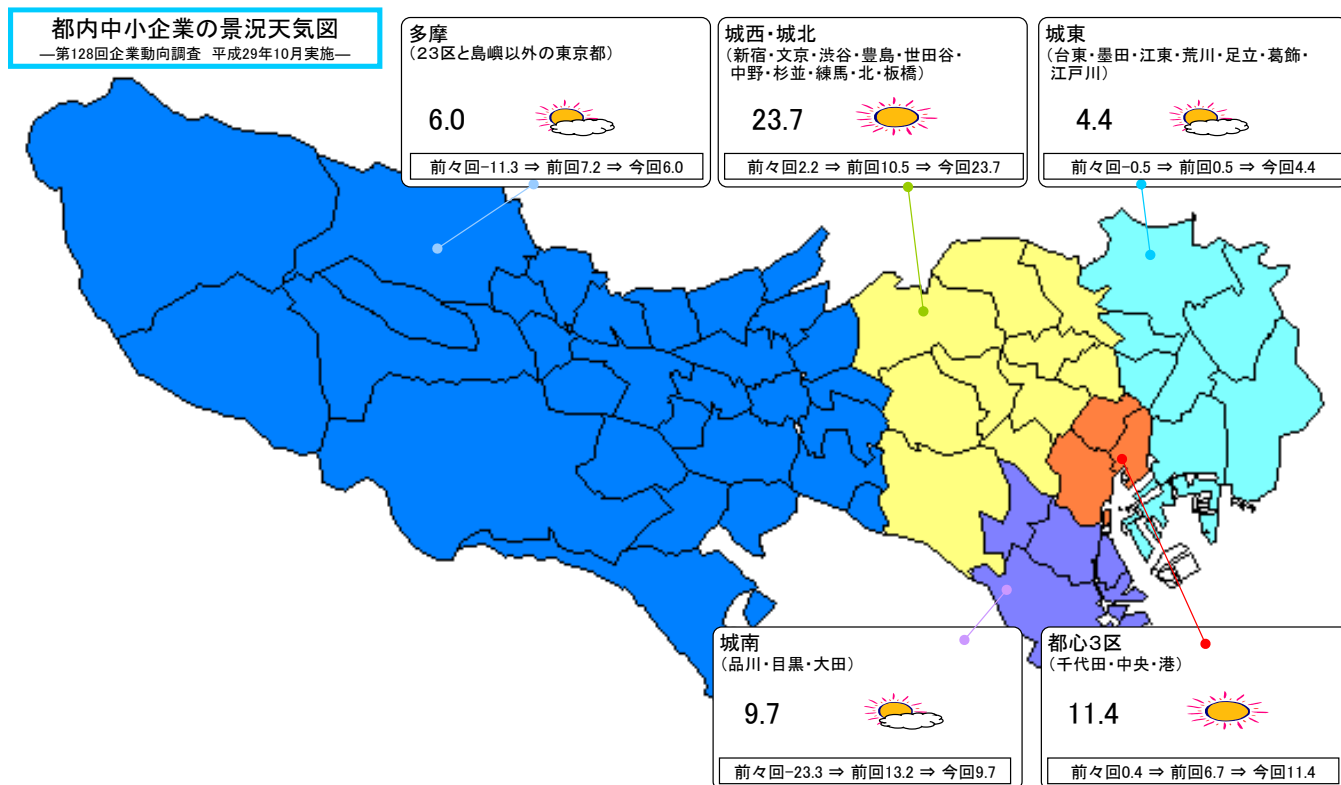
* 下図は、自社の経営上特に障害となっている事項として複数の○印をつけていただいたアンケート回答総数を100%として、それぞれの問題点が全体の何%を占めるか構成比を算出し、2000年～最近時点までをグラフで示したものです。

- 第1位は、「労働力不足・求人難」で構成比は18.0%と、前回の17.1%から0.9ポイント増加した。
- 第2位は、「人材難」で16.2%と、前回の15.7%から0.5ポイント増加した。
- 第3位は、「同業他社との競争」で、14.8%と、前回の15.9%から1.1ポイント減少した。
- 第4位は、「売上不振」で、9.1%と前回の9.0%からほぼ横這いであった。
- 第5位は、「人件費等経費の増加」で、前回の7.6%から0.4ポイント増加し8.0%となった。
- 第6位は、「原材料高・仕入価格高」で、7.1%と前回の6.6%から0.5ポイント増加した。
- 第7位は、「合理化不足」で4.9%、第8位は、「取引先からの値引き要請」の4.5%であった

(図11) 経営上特に障害となっている事項。複数回答の%構成比の推移



4. 都内中小企業の景況天気図（参考）



表は、都内経済のアンケート調査に基づいた当行独自のものです。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨

- 上記景況天気図は、第98回(2007年10月)調査より、企業動向調査アンケート票に、所在地の項目を追加したものを利用して、上記6つの地域ごとに、①自社業況判断DI、②売上高DI、③経常利益DI、④設備資金需要DIの原数値を平均した数値を基に判断した、当行独自のものです。

本件に関するお問い合わせ先：
 東京都民銀行 コンサルティング事業部
 ホームページ URL <http://www.tominbank.co.jp>
 <担当：(株)きらぼしコンサルティング 辻川>
 TEL： 03 (5280)0080(代)